

まちの話題

▶ 式典であいさつする中西会長



天理市長寿会連合会 「創立 50 周年記念大会」

昭和37年9月に結成された天理市長寿会連合会が創立50周年を迎え、7月25日、文化センターで「創立50周年記念大会」が開かれました。

丹波市幼稚園児による太鼓の演奏で幕をあげ、式典では中西憲治会長から「私たちは高齢者の健康長寿への取り組みを核として、若い世代とともに手を携え、新たな絆社会の創造を目指しましょう」とあいさつ。集まった多くのクラブ会員は半世紀にわたり受け継がれてきた活動に深い思いを馳せ、新たな歴史の一步を踏み出すことを誓い合いました。

▶ オープニングを飾る丹波市幼稚園の園児



楽しかった 夏の思い出

水泳教室

▶ プールで気持ち良さそうに泳ぐ子どもたち



7月20日から26日まで、市内在住の小学1年生以上を対象に「水泳教室」が開かれました。

子どもたちは、講師の指導のもと、ビート板を使ってのバタ足や、息継ぎなど泳力を身につけるため、一生懸命に練習。最終日には、25メートルを泳げるようにまで成長した子どもたちもいて、その顔には、笑みがこぼれていました。



▶ 熱心な指導を受け、みるみる上達

青年海外協力隊の松井さんが帰国報告



▶ 派遣先のラオスの思い出を語る松井さん

JICA（青年海外協力隊）ボランティアとしてラオスに2年間派遣された松井美希^{よしき}さんが、帰国し、7月17日、市役所を訪れました。

松井さんは、福住小学校で算数補助教員として2年間勤務した後、派遣先のラオスで、現地教員に対し、算数教育の指導案のたて方を教えるとともに、子どもたちに算数の授業を行っていました。

今後は、現地で得た語学力をいかし、草の根無償資金協力のコンサルタントとして、在ラオス日本大使館で働く予定です。